

# おでかけだより

新春号 NO. 36

平成25年1月5日

発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』 発行責任者：樋口 蓉子  
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103  
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755  
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>



## 新しい年のはじめに



理事長 樋口 蓉子

### 新年明けましておめでとうございます。

この冬はとりわけ寒さが厳しく、豪雪に悩まされている地域も多いようですが、利用会員のみなさまをはじめ、おでかけサービス関係者のみなさまには良い新年をお迎えくださいましたでしょうか。

昨年末には衆議院の解散、選挙が行われ、再び自民党が国政を担うこととなりました。

自民党が旗印の一つに掲げた景気回復は誰もが望むことですが、経済合理性や効率性を追求するあまりに、弱者を尊重する福祉政策や、たすけあいのある強い地域づくりといった課題が疎かにならないよう、注視していくことが必要と考えます。

## ちょこっとサポート NEKO (ネコ) の手 始めます!

さて、私たちが利用会員のみなさまの送迎を行う中で、さまざまなご不便やご不自由を伺うことがあります。例えば、薬を取りに行きたいのだが手がないとか、家の蛍光灯の取り換えができないとか、利用会員のみなさまの中には日常生活を送る上での困りごとを抱えておられる方が多くいらっしゃいます。そして送迎を担当する私どもの運転協力員が、手助けを求められる場合もあります。しかし、運転協力員は送迎のみを行うことが決まりであり、それ以外のお手伝いは出来ない立場にあります。このような状況に少しでも対処できればと考え、今年の3月を目途に、おでかけサービスの利用会員のみなさまを対象として「ちょこっとサポート・NEKO (ネコ) の手」という事業を行うことにいたしました。これは、サポーターと呼ばれるお手伝い要員を確保し、利用会員のみなさまからのSOSに対して、ちょっとしたお手伝いを行おうとするものです。

勿論、サポーターは全員素人です。危険を伴う作業や、専門性を要するお手伝いはできませんが、ご家族や、隣近所の方の手助けが得られない場合に、それに代わってお手伝いをさせていただきます。この事業の内容や、サポーター募集の書状を同封しておりますので、詳しくはそちらをご覧くださいと思います。こんなことが、もし多少でも利用会員のみなさまのお役に立つのであれば、大変嬉しく思います。

最後に、みなさまにとって今年が良い1年となりますよう、心から祈念申し上げます。



N・・・なんでも  
E・・・えんりょなく  
K・・・こまったときの  
O・・・おてつだい

問合せ先 NPO法人 おでかけサービス杉並 (担当 野口)

TEL 03-6425-8584 / FAX 03-5397-1755





## 新運転協力員紹介 ☆☆☆ 北川美枝子

初めまして、北川美枝子です。

私は5歳から荻窪で育ちました。5人家族の中、運転は母と私が担当でした。父や姉を乗せて、送迎・ドライブと元気に70代まで運転をしていた母も、7年前から1年半ほどおでかけサービス杉並にお世話になりました。母が女性ドライバーを希望しましたところ、大変感じのいい丁寧な方、信頼の出来る明るい方にお世話になる事ができ、家族は安心して笑顔で出かける母を見送っていました。

仕事も一段落した今、母のように女性ドライバーをご希望の女性の方に、私を運転手として使っていただきたいと思い「すぎなみ地域大学運転協力員講座」を受講し、お世話になったおでかけサービス杉並に登録いたしました。私の車は左ハンドルでクーペタイプですので、乗り降りや座り心地など不安をお持ちになるかもしれませんが、両親の乗り降り介助は長くおこなってまいりましたのでお手伝いできるかと思えます。(たまに変わった車も楽しいかも知れません)送迎の車中でのひと時を、家から外の空気に触れ多少の気分転換の時にもして頂けたらと思います。安全安心快適に乗車していただけるように努めてまいります。宜しくお願いいたします。



## “福祉車両体験乗車おでかけ企画”に参加して

昨年10月、神楽坂で毎年開催される「まち飛びフェスタ」というイベントの一環として行われた、杉並区移動サービス情報センターもび〜る主催の、“福祉車両体験乗車で神楽坂を散策”という行事にスタッフとして参加しました。一般公募された17名の方を4台の福祉車両(福祉限定タクシー)でご自宅にお迎えし、神楽坂の毘沙門天に。その後2班に分かれて、昔は花街だった神楽坂の狭い路地を車いすで散策しました。当日は、名物の“猫の仮装パレード”の日。参加者のお一人は、突然、持参された猫の仮面と猫耳を付け、“車いすに乗った猫”に変身。気が付けば、なんと着ているセーターにも猫の模様が描かれていました。車いすに乗ったまま、楽しそうにパレード参加者と手を振り合せて交歓する、その方のお姿が印象に残りました。散策を終え毘沙門天の境内でコーヒータム。参加者とスタッフ、参加者どうしのおしゃべりのひと時も、和やかに、賑やかに過ぎていきました。帰りは再び福祉車両でご自宅まで。参加者の方からは、「普段外出の機会が少ないので、今日のような催しは本当に楽しく嬉しかった」との感想がありました。当日参加の中のお一人が、おでかけサービスの利用会員となって下さったことも、とても嬉しいことでした。(樋口 厚)



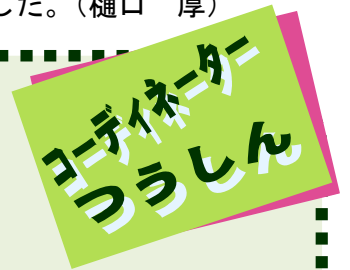
先日の日曜日、久しぶりに送迎の仕事をしました。

おでかけサービスのスタート当時からご利用頂いている車いすのお子さんなのですが、久しぶりの対面にびっくり。

当時は小学3年生だったのが今や中学2年生。すっかりお姉さんになっていました。見た目はもちろんですが、会話が敬語をたくみに交えた大人の話し方で、私の方がタジタジです。11月に受けた障害児ガイドヘルパーの講習で講師の方が「いつまでも〇〇ちゃんではないですよ」と言われていたのを思い出しました。確かに子どもたちの成長は早いですね。

「私がハタチになってお酒飲むようになったら、居酒屋までお迎えに来てもらったりして〜」などと楽しく話がはずみ、20分の乗車でしたがあっという間にお宅に到着しました。

この日は、他にも寒い冬に備え福祉車両2台のタイヤを冬用に交換しました。これでもういつ雪が降っても大丈夫です。



コーディネーター 野口 恭子